環境サミット　　　４年　名前（　　　　　　　　　　　　）

1. （　　　　　　）今から玉川小学校の発表を始めます。気を付け。礼。
2. （　　　　　　）私たちは、２学期に諏訪川の環境について学習してきました。
3. （　　　　　　）玉川校区には、ぶどう畑や田んぼなどがあり、自然がとても豊かです。
4. （　　　　　　）学校の近くには、諏訪川に続いている鳴川も流れています。
5. （　　　　　　）私達は、一学期にこの鳴川にどのような生き物が住んでいるのかと、水のきれいさを調べました。
6. （　　　　　　）調べてみると、鳴川にはカワムツやサワガニなど、たくさんの生き物が住んでいました。
7. （　　　　　　）また、たくさんの生き物が住めるくらい川の水がとても澄んでいました。
8. （　　　　　　）鳴川の先にある諏訪川ではどうなっているのかを調べることにしました。
9. （　　　　　　）どのくらい諏訪川がよごれているのか、諏訪川の水の汚れを、上流・中流・下流の水質と生き物の種類を比較して調べました。
10. （　　　　　　）まず、水質を調べるために、CODパックテストと透視度計調査を行いました。
11. （　　　　　　）CODパックテストとは、水のきれいさを、色で見分けるテストです。
12. （　　　　　　）ピンクに近ければきれいな水、黄緑に近ければよごれた水だということが分かります。
13. （　　　　　　）例えば、洗剤で食器を洗った後の水では緑色になります。
14. （　　　　　　）これを、諏訪川の上流・中流・下流の3地点で調査しました。
15. （　　　　　　）その結果、上流ではピンク色、中流では薄いピンク色、下流では、薄い紫色になりました。
16. （　　　　　　）また、透視度調査では、上流が100㎝、中流が93㎝、下流が68cmとなりました。
17. （　　　　　　）さらに、川のきれいさは、そこに住んでいる生き物の種類でも分かります。
18. （　　　　　　）ホタルやそのエサとなるカワニナがきれいな川でしか住むことができないのがその代表的な例です。
19. （　　　　　　）私達は、諏訪川の上流・中流の2地点で、生き物を採取し、市役所の方に頂いた資料をもとに、見つけた生き物の平均点数で水の汚れを判定しました。
20. （　　　　　　）平均点数が３．５以上だったらきれいな水、２．５～３．４だったらやや汚れた水、１．５～２．４だったら汚れた水、１．４以下だったら大変汚れた水と言うことができます。

㉑（　　　　　　）上流は、サワガニやカワニナなどの生き物が見つかり、平均点数４.５点で「きれいな水」となりました。

㉒（　　　　　　）中流では、カゲロウなどの生き物が見つかり、平均点数４点で「きれいな水」となりました。

㉓（　　　　　　）これらの調査から諏訪川の水のきれいさは、上流から下流にかけて低くなっていることが分かります。

㉔（　　　　　　）そこで、川の汚れの主な原因について、大牟田市役所の環境保全課の方に取材しました。

㉕（　　　　　　）そして、川が汚れる一番の原因は、家庭から流れる生活排水であることを教えていただきました。また、川へのゴミ捨ても原因の一つです。

㉖（　　　　　　）そこで、川をきれいにするために、私たちにできることを、調べ、話し合いました。

㉗（　　　　　　）1つめは、川の汚れの原因となる油を減らすために、お皿を一度ふき取ってから洗うことです。

㉘（　　　　　　）２つめは、食器を洗う洗剤やシャンプー等の使う量を減らしたり、薄めて使ったりすることです。

㉙（　　　　　　）３つめは、川にごみを捨てないことです。

㉚（　　　　　　）私達は、この３つのことをやっていきます。

㉛（　　　　　　）また、この川の水が、玉川校区の農業に使われていることを知りました。

㉜（　　　　　　）そこで、他の人達にも知ってもらうことが大切だと思い、学んだことを、ポスターにしました。

㉝（　　　　　　）みんなで、諏訪川の環境を守り、玉川で作られる、おいしい農作物をこれからも作り続けられるようにしていきたいと思います。

㉟（　　　　　　）これで、玉川小学校の発表を終わります。気を付け、礼